



森林総合研究所四国支所 公開シンポジウム
ニホンジカ問題の現状と対策の今後

－「被害防除と個体数管理」～車の両輪を回すために－

- ・森林・林業において被害防除のために必須である防鹿柵技術について理解を深める。
- ・限界が明らかな従来の捕獲体制から、目指すべき個体数管理体制の将来像を探るとともに、林業的防除法と新たな捕獲技術を組み合わせた最新の研究事例を学ぶ。

概要

近年、ニホンジカ生息数の増大と生息域の拡大が各地で進行し、その影響は農林業被害のみならず、植生衰退や土壌流失など生態系への悪影響も顕著となっており、四国においても森林・林業に深刻なダメージを与えています。一方で林業経営を取り巻く環境は厳しく、シカ対策の進まない現状に対して、ともすれば捕獲要求一辺倒に陥りがちな状況です。

しかし、これからの野生動物対策は、適切な技術の適用による被害防除（被害管理）と、効果的な捕獲法を取り入れた合理的・持続的な個体数管理を、車の両輪として機能させていかなければ展望は開けないと考えます。

よって、これらの問題に対する理解を深めるために、森林総合研究所四国支所と森林野生動物研究会は共催で別紙のとおり公開シンポジウムを行います。

当日は是非取材にお越しいただき、紙（誌）面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

開催日時：平成25年10月5日（土）13:30～17:00 入場無料

開催場所：四国森林管理局大会議室（2階）

問い合わせなど

独立行政法人 森林総合研究所四国支所 支所長 外崎真理雄

広報担当者：独立行政法人 森林総合研究所四国支所 連絡調整室長 杉本育己

Tel：088-844-1121（代） Fax：088-844-1130

Email：koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp

この資料は、高知県政記者クラブへ配布しています。

